

## (施策) 35 まちづくりへの市民参画・協働

施策又は事業名	確認事項又は評価意見(案)等	回答(担当部局が記入)	担当部局
施策全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちを良くするための、各種活動に参加した市民の割合、H28年40%になっているが、どこから算出したものなのか、又各種活動の対象は。</li> <li>・まちを良くするための各種活動に参加した市民割合成果目標値40%設定の考え方について。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この成果指標の目標値は、これまでトレンド推計としていましたが、昨年度の第4期総合計画(戦略計画)後期見直しに合わせて実数値に変更しました。</li> <li>・実績値は、毎年実施している総合計画アンケートの中の「この1年間で町内会・自治会などの地域活動や、NPO(営利を目的としない団体)・ボランティアなどの活動に参加したことがありますか?」という設問で、参加していると回答した市民の割合を示しています。</li> <li>・総合計画前期における成果指標基礎数値である平成17年度実績33.6%以降30%台で推移していることから目標として40%台となるよう設定しました。</li> </ul>	協働推進・市民の声を聴く課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標1の実績値が減少した理由として考えられることは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標1の内容については、上記の回答のとおりです。</li> <li>・H22実績値とH23実績値について年代別で比べたところ、総じて低下しておりましたが、特に60歳以上の高齢者で大きく低下していました。</li> <li>・この年度だけ大きく数値が減少した理由を探るには、次年度以降の推移を見ていく必要があると思われます。</li> </ul>	協働推進・市民の声を聴く課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働システムの確立と運用となっていますが、協働システムの全体像、もしくは確立した形とはどのようなものなのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働システムとは、市民参加手続制度、まちづくりのルールを定めた自治基本条例、市民から市との協働事業を募集する協働事業提案制度など、協働のまちづくりを目指すために必要なルールや制度のことを指しています。</li> <li>・協働のまちづくりを目指していく上で、これらのシステムはある程度確立されてきていると言えますが、今後も、市民、企業、団体など、石狩市に関わる様々な人達がつながり、まちづくりに主体的に関わることが出来るよう常にルールや制度を検証しながら取り組んでいきます。</li> </ul>	協働推進・市民の声を聴く課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2008年に自治基本条例を制定してから主体的な市民の参加は進んでいるか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が主役のまちづくりを目指し、協働のまちづくりを基本原則に据えた自治基本条例を施行したこの年に、市民から協働のまちづくりに関する提案を募る制度「協働事業提案制度」を創設しました。</li> </ul>	協働推進・市民の声を聴く課

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・この制度は、まちづくりに主体的に関わろうとする団体からの提案に基づき事業を実施するものであり、これまでに21の協働事業が生まれました。</li> <li>・また、成果指標に協働事業の実施数として平成22年度93事業とありますが、このうちの半数近くが、自治基本条例の制定後に生まれたものです。</li> <li>・これらのことから、市民が主体的にまちづくりに関わる気運は着実に進んでいると思われます。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種市民活動団体などを支援・育成するまための具体策。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動を総合的にサポートすることを目的に平成20年8月に市民活動情報センターぽぽらーとを北コミュニティセンター内に設置しました。市内のNPO法人が指定管理制度に基づき運営しています。</li> <li>・この施設では、市民活動団体の活動を支援するため、無料で使えるミーティングコーナーや、資料づくりに役立つ印刷機、紙折り機等の備品を各種取り揃えています。また、団体向けの各種助成金や市内イベント情報などを提供したり、市民活動に関するさまざま相談にも応じています。</li> <li>・その他、センターでは市民活動の啓発を目的とした講座や市民活動団体や市民等との交流を目的とした事業を開催し、石狩市の市民活動がさらに活性化するよう様々な取り組みを行っています。</li> </ul>	<p>協働推進・市民の声を聴く課</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぽぽらーとについて利用人数は増加し、市と市民の協働は理解できるが市民同士の協働を深めることが可能か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石狩市が目指す協働のまちは、市民と市の協働だけではなく、市民同士の協働も含んでいます。</li> <li>・市民活動情報センターぽぽらーとでは、相談業務の中で、市民活動団体に関する情報提供を行っているほか、市民活動団体や市民のネットワークづくりに繋がるような交流事業も行っており、今後も、これまで同様市民同士がつながるような取り組みを行っていきます。</li> </ul>	<p>協働推進・市民の声を聴く課</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民協働事業提案制度の市が市民と協働したい事業を提示する新たな制度、市が協働したいこととは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が市民と協働したい事業を募集する「行政提案型」の募集は8月頃を予定しており、こういった事業を市民に提示していくかは、これから担当課に照会、ヒアリングをしていきます。現段階では具体的な事業は決まっていますが、比較的市民が関わりやすい、保健福祉、教育、環境分野からの事業の募集になると思います。</li> </ul>	<p>協働推進・市民の声を聴く課</p>

	<p>・市民に情報や学習機会を提供するための適切な手法を考案することが必要ではないでしょうか。町内会組織、NPO法人等により一層の働きかけを工夫することも必要では。</p>	<p>・市では、毎年、町内会と自治懇話会や市政懇話会を行っているほか、市民向けのタウンミーティングを実施するなど行政情報の提供、市民との意見交換を行っています。</p> <p>・また、昨年度は北海道からNPO法人の認証に関する事務の権限移譲を受けたり、学習会を開催するなどNPO法人との接点が増えてきております。今年度も支援事業を実施する予定です。</p> <p>・こうした機会を今後も有効に活用しながら、市民に分かりやすい情報や学習機会の提供を心掛け、協働意識の醸成を図っていきます。</p>	協働推進・市民の声を聴く課
	<p>・市民の多くが参画したくても、仕事・勤務上等、時間的制約があり、自由に参画できないことが考えられるので、時間的制約を解決する方法は無いでしょうか。市民が参加しやすい手段を具体的に例示できないでしょうか？</p>	<p>・市民が市政に参加するための手法としては、審議会、パブリックコメントなどがあります。審議会の開催に当たっては、より多くの委員が出席出来るよう予め確認し委員の都合に合わせ日時設定を行っています。</p> <p>・時間的制約にとらわれず、誰でも市へ意見が寄せられる仕組みとしてパブリックコメントがあります。パブリックコメントは1カ月間意見を募集しています。また、資料は市役所1階の情報公開コーナーやホームページで閲覧できるほか、必要に応じて郵送もしており、多くの市民が意見を出しやすい環境づくりに今後も努めていきます。</p> <p>・このほか、石狩市では、公開している審議会の議事録はすべて公表しています。こちら市役所1階の情報公開コーナーやホームページで見ることが出来ます。</p> <p>・市民が主役のまちづくりを実現するためには、市民にも自分が住んでいる地域に目を向ける姿勢と自覚が必要ですので、こうした機会を積極的に活用し、まちづくりへ参加いただくことを期待しています。</p>	協働推進・市民の声を聴く課
	<p>(事業の内容－③手段) ・条例にもとづくガイドラインを作成し、職員周知は進んでいるのか。</p>	<p>・平成14年度に市民参加手続が導入された当初は、市に公表漏れなどの手続き上のミスが多くありました。そのため、職員が市民参加手続の事務を行う上で助けとなるようなマニュアルのほか、審議会運営に関するガイドラインを作成し、また、毎年職員研修を行い、事務処理能力と意識の向上に努めてきました。</p> <p>・昨年度、附属機関である第5次市民参加制度調査審議会</p>	協働推進・市民の声を聴く課

		から出された答申の中で、制度の運用は軌道に乗ってきているとの見解も出ていることから、一定程度職員の周知は進んでいると考えています。				
市民参加推進事業	(事業の内容－④背景・個別計画等) ・より市民の声を多く反映する行政運営を行うための条例等を制定したとありますが、どの様なものを制定したのか。	・石狩市では、行政が重要な施策（条例の改廃、計画の策定など）を決定するときには、予め情報を公表し市民の声を聴くためのシステム、「市民参加手続制度」を平成14年度から導入しています。（石狩市行政活動への市民参加の推進に関する条例、通称市民の声を活かす条例）	協働推進・市民の声を聴く課			
	(活動指標－市民参加手続件数) ・審議会とパブリックコメントなどを合わせた実績数ではなくそれぞれの数を教えてください。		H21年度	H22年度	H23年度	協働推進・市民の声を聴く課
		審議会	29件	21件	25件	
		パブリックコメント	21件	12件	14件	
		縦覧・意見書提出	1件	0件	2件	
		ワークショップ・市民会議	8件	2件	0件	
アンケート・意見交換会		4件	0件	6件		
合計	63件	35件	47件			
(成果指標) ・パブリックコメントに寄せられた意見の件数を教えてください。	件数は事業評価シートのとおりで、人数は下記のとおりです。 ・平成21年度 56人 ・平成22年度 25人 ・平成23年度 66人		協働推進・市民の声を聴く課			
・協働職員研修の対象者、受講者数及び活用内容について  (事業の内容－⑥H23に取組んだ事項と成果) ・市民と市職員のまちづくりワークショップの参加者は。	・市が率先して協働のまちづくりに取り組んでいくため職員の資質と意識の向上を目的に、平成22年度から職員研修を実施しています。昨年度は、高齢化が進み地域の課題が深刻化している厚田・浜益地域について、市民と市職員が協働を意識したまちづくりを話し合うワークショップを実施しました。 ・3日間日程で、1日目は職員を対象に協働の基礎知識やコーディネート能力の向上を目的とした研修を実施し19名の職員が出席しました。 ・2、3日目は、市民と職員が情報・意見交換しながら、協働のまちづくりについて学ぶことを目的に実施し、25名（市民13名、職員12名）が出席しました。3日間とおして出席した職員は5名です。 ・参加者からは協働の意味が実感出来たという声が多く聞		協働推進・市民の声を聴く課			

		かれたことから、一定の成果があったと考えます。	
協働推進事業	・市民活動情報センターにおける相談の種類、範囲について	石狩市市民活動情報センター条例において「市民活動に関する情報の収集及び提供並びに相談に関すること」としており、具体的には団体の組織化や法人化に関する相談や、団体の活動の充実、推進等についての相談の他、市民活動団体や講座等に関する問い合わせも受けています。	協働推進・市民の声を聴く課
	(活動指標) ・市民活動情報センター実施事業の内容と成果	別紙のとおり	協働推進・市民の声を聴く課
	(成果指標) ・実施した協働事業の内容	・いしかり市民カレッジの運営、森林ボランティアクマガラとの森林保全活動、市内の子育て関係者が集まり話し合いの中で各種事業を生み出している「子育てネット会議」などの他、多数の関連団体と繋がりのある市民図書館では、読み聞かせや書籍の修繕など様々な取り組みを行っています。	協働推進・市民の声を聴く課

(別紙)

## 市民活動情報センター実施事業の内容と成果

1	6月	<p>ラウンドテーブル「ゆるやかにつながる」</p> <p>【内容】地域コミュニティの連携が希薄になり、緊急の事態が起きた時の不安が広がる中、新たな結びつきが必要とされており、市民自らが、これからの様々な「つながり」を考える機会とする</p> <p>【提言者】①久保田貴浩氏(石狩市社会福祉協議会 地域福祉課長) ②村田たえ子氏(NPO 法人エルサ 事務局長)</p> <p>【参加人数】32人</p>
2	9月	<p>ゆるやかにつながる第2弾 講演会「楽しみながら 支えあいながら 育てながら 地域をつくる」</p> <p>【内容】地域住民が集える重要な拠点として、地域と一体となってまちづくりを行っている NPO 法人スタッフを迎え、地域の中で「つながる楽しさ」を聞き、実践する喜びを感じてもらう</p> <p>【講師】①菅原秀和氏(NPO 法人当別町青少年活動センターゆうゆう24 スタッフ 当別町共型地域オープンサロン Garden センター長) ②山本純子氏(NPO 法人さっぽろ介護 NPO 支援ネット 事務局長)</p> <p>【参加人数】35人</p>
3	10月	<p>団体向けPC講座(2日間)</p> <p>【内容】パソコンの基礎からブログの開設までを学習</p> <p>【講師】NPO 法人北海道 NPO サポートセンタースタッフ</p> <p>【参加人数】各4団体 各4人</p>
4	11月	<p>個人向けPC講座(2日間)</p> <p>【内容】ワードでチラシを作成</p> <p>【講師】なんでも石狩 岡田隆司氏</p> <p>【参加人数】各5人</p>
5	12月	<p>平成23年度コミュニティ再生講座 コミュニティビジネス個別相談会</p> <p>【内容】NPO の会計担当者等に対する、会計や税務に関する個別相談会</p> <p>【相談員】瀧谷和隆氏(税理士、北海道税理士会会員)</p> <p>【参加人数】1団体 2人</p>
6	1月	<p>「ゆるやかにつながる」報告会</p> <p>【内容】9月に行った講演会でボランティア券があたり、講師の施設で1日ボランティアをすることになった方の報告会</p> <p>【参加人数】8人</p>
7	3月	<p>第3回ブックマーチ(中古本リサイクル市)</p> <p>【内容】家庭で読まれなくなった本を集め、廉価で販売。今回の売上金で平成24年度に学校図書館へ本を寄付する他、売れ残り本は他の NPO 経由でアジアの教育支援に役立てる</p> <p>【収集冊数】約 4,000 冊</p> <p>【参加人数】約 340 人</p> <p>【総売上】83,180 円</p>

8	3月	NPO 法人のための年度末事務講座 【内容】事業報告書の作成等、NPO 法人が NPO 法で義務付けられている事務についての講座 【講師】北村美恵子氏(NPO 法人北海道 NPO サポートセンター) 【参加人数】6団体 14人
---	----	--